

---

# 歌って回す幻想郷放浪記

日輪

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

歌って回す幻想郷放浪記

### 【Nコード】

N0008V

### 【作者名】

日輪

### 【あらすじ】

これは一人の変な少年の物語・・・

## ぶろろーぐなのかー（前書き）

初投稿ですがなにとぞよろしくお願いします

ぶろろーぐなのかー

「幻想郷にいこう」

そう思ったのは咲夜いや、昨夜のことであつた。

俺の名前は僧音遼

そうおんりよう

年は14歳 いじめられっこである。（この説明をするたび悲しくなるのはなぜだろうか）

幻想郷に行く動機は、友達2人の失踪である。

三日前から姿が見えないとみんな騒いでいるが俺にはわかる彼らが幻想郷に行ったことが  
装備は

ぶかぶかのジャンパー、フラフープ、財布、エコーがかかるマイク、ライター、折りたたみ傘、水などの食料

と、まあこんな感

じで幻想郷に行こうと思う

その前に言っておこう

この旅は友達2人を探す旅ではない。俺はただ、友達2人が幻想郷にいったから行く

つまりまねっこである。

じゃあ何の旅なのかというと・・・

フラフープ回しながら幻想郷の住民に俺の歌声を聴いてもらう旅です

（わかりやすく言うとフラフープ回しながら歌っている俺の姿を幻想郷の住民に披露するということです。）

「さて、そろそろ行くかな」

俺は家を出た

「ん？空が暗いな・・・雨でも降るのか？」

と思ったら

ゴパア！

「っ！？」

足下にいきなりでっかい穴があいた

「う、うわあああああああ！」

俺はそのまま引きずり込まれてしまった。

ぶろろーぐなのかー（後書き）

引きずり込まれた遼少年の運命やいかに・・・

次回「巫女不在」をお楽しみに！

## 第一話 巫女不在（前書き）

こんばんは。そうじゃない人は、こんにちは。どちらでもない人は、  
初めまして。日輪です

## 第一話 巫女不在

・・・

「ここは・・・」

俺はしばらく気を失っていたようだ。

「幻想郷か？」

辺りを見回したら何か神社のような建物があった。

「まさか！ここがUWASAの博麗神社はくれいじんしゃ！？」

俺はさっそく賽銭箱に金を投げ入れた

チャリンッ

「・・・ん？そういえば、博麗霊夢とかって言う巫女の姿が見あたらないな・・・」

もしかしてここ博麗神社じゃないんじゃないか・・・いや考えすぎか・・・

「霊夢さんなら留守ですよ」

「うわぁ！」

ゴチン！

おどろいて地面に頭をぶつけてしまった

また気を失った・・・

「うん・・・」

「気がつきましたか」

「ここは？」

「ここは妖怪の山です私の名前は射命丸文<sup>しやめいまるあや</sup>」

「俺の名は僧音遼よろしく。」

「騒音量？」

「僧音遼！」

「・・・あつ！そうそう。遼さんの近くにこれ落ちてたんですけど  
こっこれは！スペルカード！これがあれば俺のかっこよさがよりい  
っそう引き立つぜ！

「そうだ！それは俺のだ！」

「やはりそうでしたか！よかった」

「お礼に俺の芸を見せてやる！いくぜええええ！」

少年披露中・・・

「こっ・・・これは！なにかいい記事が書けそうです！それでは！」

そう言って文は飛び立ってしまった

「さて、俺もそろそろ行くかな」

俺は山を下ることにした。

## 第一話 巫女不在（後書き）

遼少年が向かったところはいっただい・・・次回「巫女不在2」をお楽しみに！

## 第二話 巫女不在2（前書き）

おひさしぶりです。そうでない人も初めまして日輪です。

## 第二話 巫女不在2

妖怪の山を下り俺は博麗神社に足を運んでいた。

「おーい霊夢さーん」

だめだ・・・出てこない・・・やっぱりここは博麗神社ではないのだから・・・

「私に何か用かしら」

「うわぁ！」

ゴチン！

また気を失った・・・

「いてて・・・」

「気がついたみたいね」

「助けてくれて有り難う。あなたが博麗霊夢さん？」

「ええ、そうよ。」

「おいおい、怪しまないのか？俺は外来人だぜ？」

「あんたみたいなのは幻想郷にはたくさんいるのよ」

「なら話は早い、何で留守にしてたのか教えてくれ」

「いやよ」

「お賽銭入れたのに・・・」

「何円？」

「500円」

「やったああああああ！有り難う！」

「礼はいいから話を続けてくれ（はしやぎすぎだろ）」

「ちょっと用事があつて紅魔館にいったの」

紅魔館<sup>こうまかん</sup> 聞いたことがある。たしかレミリアとかつて言う吸血鬼がいるらしい他にもいろんなのがいるってUWASAだ。

（紅魔館に行つて芸を披露すれば有名になれるかも！・・・たぶん。）

「紅魔館への行きかたを教えてくださいあと、俺の芸を観ろ。」

「ずいぶん唐突ねえ。まあいいわ教えてあげる。紅魔館は、少女説明中・・・」

「有り難う。では俺の番だ、いくぜええええ！ 少年披露中・・・」

「妙に歌と、フラフラ上手いわね・・・」

「ほめていただき感謝！ではさらば！」

「お賽銭有り難うゝ！ルミアとチルノ居るから気をつけてゝ」

それを先に言ってくれ・・・

## 第二話 巫女不在2（後書き）

紅魔館に、向かった遼少年。果たして無事にたどり着けるだろうか・

・

次回「芽生えし能力の発動」をお楽しみに！

### 第三話 芽生えし能力の発動（前書き）

もう少いで誕生日の日輪です。

追記 題名編集しました。

追記 アイシクルフォースではなくアイシクルフォールでした。

### 第三話 芽生えし能力の発動

さいしょに一言

前回怪しまれなかったからって名前を言わなかったことに非常に後悔している。

（詳しくは巫女不在2をみてね！）

そして、なぜ敵が出てこない！？

おかしいだろ！？この小説お笑いじゃないんだからって・・・ん？

「たすけてえゝ！」

「チルノちゃん・・・もうあきらめようよ・・・」

「そうなのかー」

あれは、チルノと大妖精とルーミア・・・様子がおかしい。

木に縄で縛られている

これは放っておけない！

「おーい！大丈夫かゝ！」

「やった！助けがきた！」

「あたいったら天才ね！」

「そーなのかー」

「まってる！今ほどいてやるからな！」

少年救出中・・・

「・・・ふう。これでよしと！」

「ありがとうございます！あの、お名前は・・・」

「僧音遼だ。よろしくな！」

「騒音量？」

「違うよチルノちゃん！蘇鵜穩霊だよ！」

「そーなのかー」

「言いたくなかったが言わせてもらおう。そんなわけねーじゃん！」

名前言わなきゃ良かったよ！まったく！

「あゝ」

「ん？なんだ？」

「頼みがあるんですけど・・・」

「ん？なんだ？」

「台詞使い回しって楽しい？」

「溶かすぞ」

「すみません」

「わかればよし。では大妖精、続けてくれ」

「あ、はい。この先の湖に得体の知れない妖怪が出てきてこのあたりの妖精皆やられちゃったんですよ」

なるほどだから敵が出てこなかったのか・・・

「はい。だから遼さんにその妖怪を倒してほしいんです」

なるほど妖怪を倒し・・・ってええ！無理無理無理！

「引き受けてくれますか？」

「無理！絶対無理！」

「なっ何ですか！？」

「俺は弾幕使えないんだよ！」

「それじゃあ道に落ちてる石ころ以下じゃん！」

「溶かすぞ」

俺はライターに火をつけた

「同じ手は通用しない！スペルカード！氷符アイシ・・・」

「ちょっとちょっとまった！行くから俺に弾幕当てないでくれ！凍っちゃうから！」

「・・・クルフォース！」

って止めないのかよ！

「うわあああああああ！」

そのとき、ルーミアがスペラを使った

「スペルカード夜符ナイトバード」

アイシクルフォースとナイトバードが衝突し、凄まじい爆発が起る。

「二度目のうわあああああああ！」

俺はぶっ飛ばされてしまった

「ちょっと二人とも！遼さん飛ばされちゃったよ！」

「あたいったら天才ね！」

「そーなのかー」

「もう・・・」

この時俺は俺自身に秘められた力を知るはずがなかった。

「そーなのかー」

「空気読んで！」

「そーなのかー」

つづく・・・

### 第三話 芽生えし能力の発動（後書き）

遼少年はどこに飛ばされてしまったのだろうか・・・  
次回「芽生えし能力の発動2」をお楽しみに！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0008v/>

---

歌って回す幻想郷放浪記

2011年11月16日18時03分発行